



星の一生

冬の星座の中から、生まれたばかりの星や一生を終えようとしている星を探してみよう。

冬の星座と星の一生

恒星はその材料となるチリとガスの密度が高いところで生まれます。冬の星座ではオリオン大星雲が星が誕生する場所として有名です。望遠鏡で見ると生まれたばかりの4つの星が見えます。生まれてからしばらく成長した若い星の集団は、おうし座のすばるです。また、一生を終えようとしている星はオリオン座のベテルギウスで、最期には超新星爆発をおこすと考えられています。冬の夜空で、他にも一生を終えた星たちを見ることができます。例えば、おうし座の角の先にあるかに星雲は1054年に観測された超新星爆発の残骸です。



質量で異なる星の最期

恒星には、太陽の100倍以上重い星もあれば、10分の1以下の軽い星もあり、生まれたときの質量によって寿命や最期に違いがあります。軽い星より重い星の方が寿命が短く、太陽の8倍をこえる重い星(巨星)はその終わりに超新星爆発をおこし、太陽の25倍以上重い星はブラックホールになると考えられています。



宇宙美術館

12月21日(土) ~ 4月12日(日)

プラネタリウムのお知らせ

美しい星雲の映像を楽しみながら、その正体を探ってみよう! くわしくはホームページを見てくださいね。

発行/ディスカバリーパーク焼津天文科学館 / 焼津市田尻2968-1 TEL054-625-0800

「DISCOVERY 新聞」はディスカバリーパーク焼津天文科学館ホームページ <https://www.discoverypark.jp/> よりダウンロードすることができます。